NSK

100th Since 1916

2017年3月期 第2四半期 決算説明会

日本精工株式会社

2016年11月4日

本資料には、業績見通し及び事業計画等を記載しております。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの
一定の前提に基づいて作成しております。 従って、実際の業績は、様々な要因により
業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

目次

1. 2017年3月期前半(4～9月)実績
2. 2017年3月期通期予想
3. 第5次中期経営計画の取り組み

（補足資料）

1. 2017年3月期前半(4～9月)実績

2017年3月期 前半（4～9月）業績サマリー

事 業 環 境

- ✓ 産業機械事業 ： 鉄道や半導体が好調も、総じて需要は低調
- ✓ 自動車事業 ： 北米、欧州はじめ全体的に堅調な市場環境を維持
  日系各社の海外生産増加
- ✓ 為替レート（USドル、ユーロ、中国元） 前年同期比10％超の円高

決 算 サ マ リ ー（IFRS）

		対前年同期
・売 上 高	4,556億円	-342億円 / -7.0%
・営 業 利 益	273億円	-212億円 / -43.7%
・当 期 利 益	199億円	-127億円 / -39.0%
（親会社所有者帰属）		
（・セグメント利益＊	350億円	-152億円 / -30.3% ）

＊ セグメント利益 = 営業利益 - その他の営業費用

- ✓ 対前年同期 減収減益。為替影響 売上-494億円、営業利益-110億円
- ✓ 自動車が物量増となるも、産機の物量減と円高影響により売上減少
- ✓ 株主還元強化： 中間配当 24円（普通配当14円、記念配当10円）
  自己株式取得 150億円（2016年5月実施）

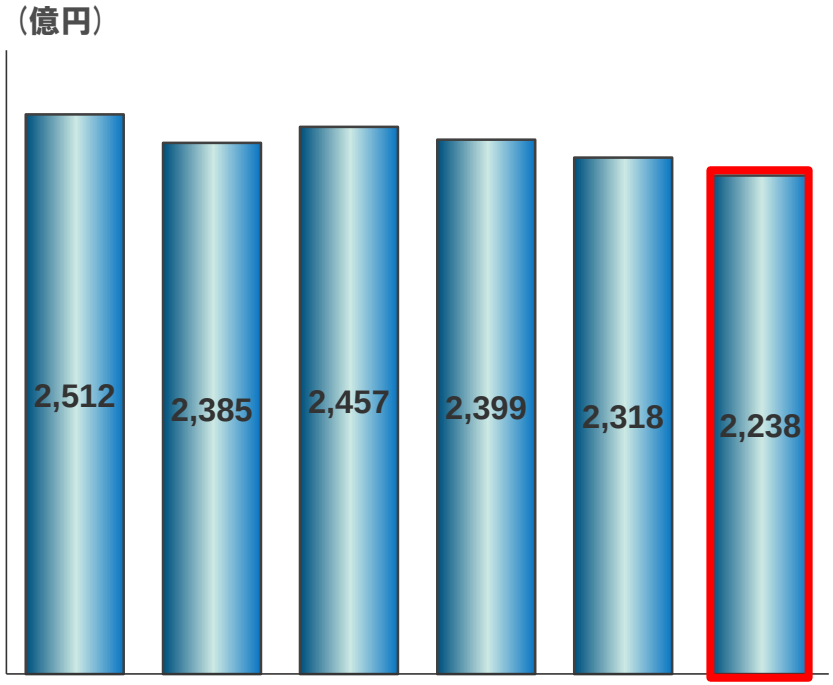
2017年3月期 前半(4～9月)業績サマリー

IFRS（億円）	16/3期前半 ＜実績＞	17/3期前半 ＜実績＞	対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率	17/3期前半 ＜5月予想＞
売上高	4,897	4,556	-342	-7.0%	4,500
営業利益	485	273	-212	-43.7%	280
＜営業利益率＞	＜9.9%＞	＜6.0%＞			＜6.2%＞
税引前利益	474	265	-209	-44.1%	270
当期利益（親会社所有者帰属）	326	199	-127	-39.0%	170
換算レート1US$	￥121.80	￥105.35	-￥16.45	-13.5%	￥105
〃 1EURO	￥135.07	￥118.22	-￥16.85	-12.5%	￥120
〃 1中国元	￥19.44	￥15.95	-￥3.49	-18.0%	￥16.7
ご参考：					
セグメント利益 (営業利益 - その他の営業費用)	502	350	-152	-30.3%	その他の営業費用 ・独占禁止法関連費用 等
＜率＞	＜10.2%＞	＜7.7%＞			
【主要指標】					
ROE	14.1%	9.1%			
Net D/E レシオ	0.27倍	0.27倍			
棚卸回転数	6.9回転	7.1回転			

売上高・営業利益 四半期推移

売上高

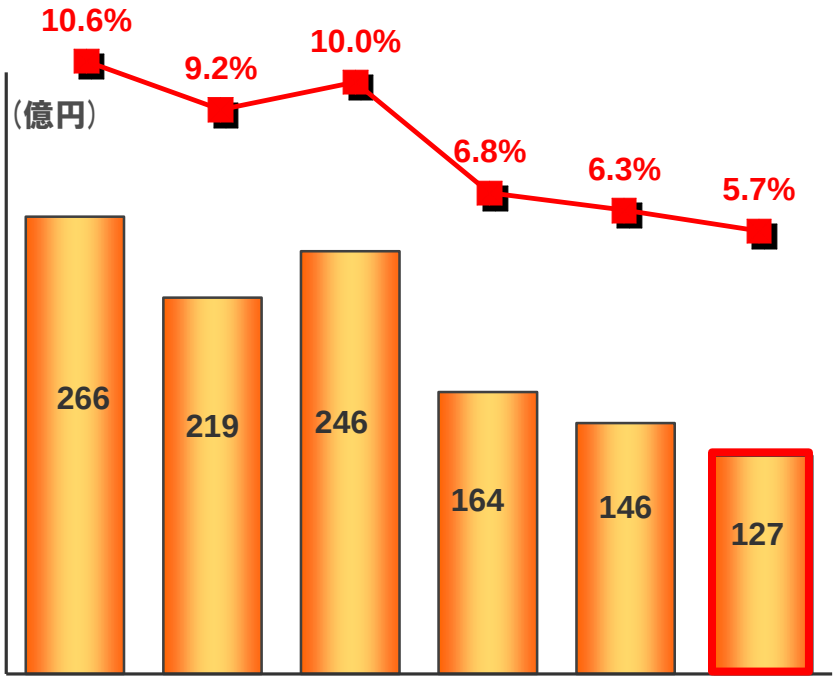
2Q 対前年度比：円高と産機需要減あるも、自動車の増加により実質物量は全体でプラス。
2Q 対前四半期比：季節性要因に加え円高進行もあり、売上減少（物量は微増）。



	16/3期1Q	2Q	3Q	4Q	17/3期1Q	2Q
US$=	¥121.36	¥122.24	¥121.50	¥115.46	¥108.25	¥102.45
EURO=	¥134.16	¥135.98	¥132.94	¥127.24	¥122.17	¥114.27
中国元=	¥19.56	¥19.32	¥18.90	¥17.62	¥16.54	¥15.36

営業利益／営業利益率

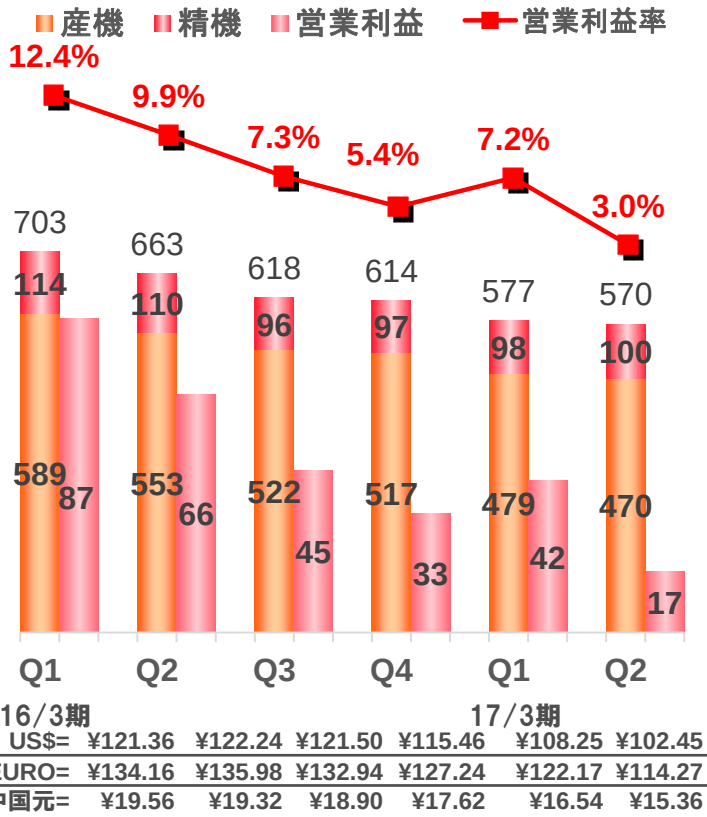
その他の営業費用（独占禁止法関連費用等）として17/3期1Qに58億円、同2Qに19億円を営業利益内に計上。



	16/3期1Q	2Q	3Q	4Q	17/3期1Q	2Q
US$=	¥121.36	¥122.24	¥121.50	¥115.46	¥108.25	¥102.45
EURO=	¥134.16	¥135.98	¥132.94	¥127.24	¥122.17	¥114.27
中国元=	¥19.56	¥19.32	¥18.90	¥17.62	¥16.54	¥15.36

売上高・営業利益［産業機械事業］

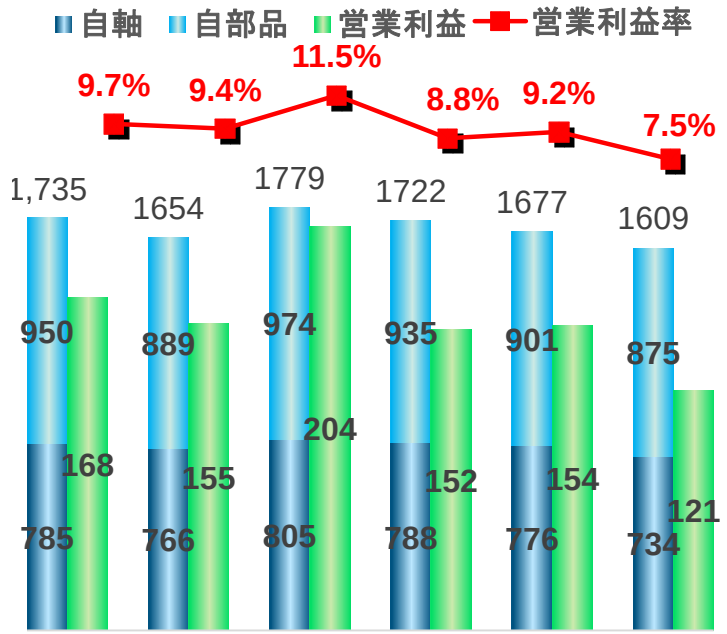
IFRS（億円）	16/3期 前半 <実績>	17/3期 前半 <実績>	対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率	前半 予想
売上高	1,366	1,147	-219	-16.0%	1,160
産業機械軸受	1,142	948	-193	-16.9%	975
精機製品	224	198	-26	-11.4%	185
営業利益 <利益率>	153 <11.2%>	58 <5.1%>	-94	-61.7%	50 <4.3%>
換算レート 1US$=	¥121.80	¥105.35	-¥16.45	-13.5%	¥105
〃 1EURO=	¥135.07	¥118.22	-¥16.85	-12.5%	¥120
〃 1中国元=	¥ 19.44	¥15.95	-¥3.49	-18.0%	¥16.7



- ✓ 物量減に加えて円高の影響もあり、対前年同期で減収減益
- ✓ 工作機械、流体、鉄鋼など停滞セクターの一方、鉄道車両、半導体向けが対前年プラス
- ✓ 精機製品は直近4四半期 売上高100億円レベルを維持

売上高・営業利益［自動車事業］

IFRS（億円）	16/3期 前半 <実績>	17/3期 前半 <実績>	対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率	前半 予想
売上高	3,390	3,286	-104	-3.1%	3,240
自動車軸受	1,551	1,510	-41	-2.6%	1,510
自動車部品	1,839	1,776	-63	-3.4%	1,730
営業利益 <利益率>	323 <9.5%>	275 <8.4%>	-47	-14.7%	220 <6.8%>
換算レート 1US$=	¥121.80	¥105.35	-¥16.45	-13.5%	¥105
〃 1EURO=	¥135.07	¥118.22	-¥16.85	-12.5%	¥120
〃 1中国元=	¥19.44	¥15.95	-¥3.49	-18.0%	¥16.7

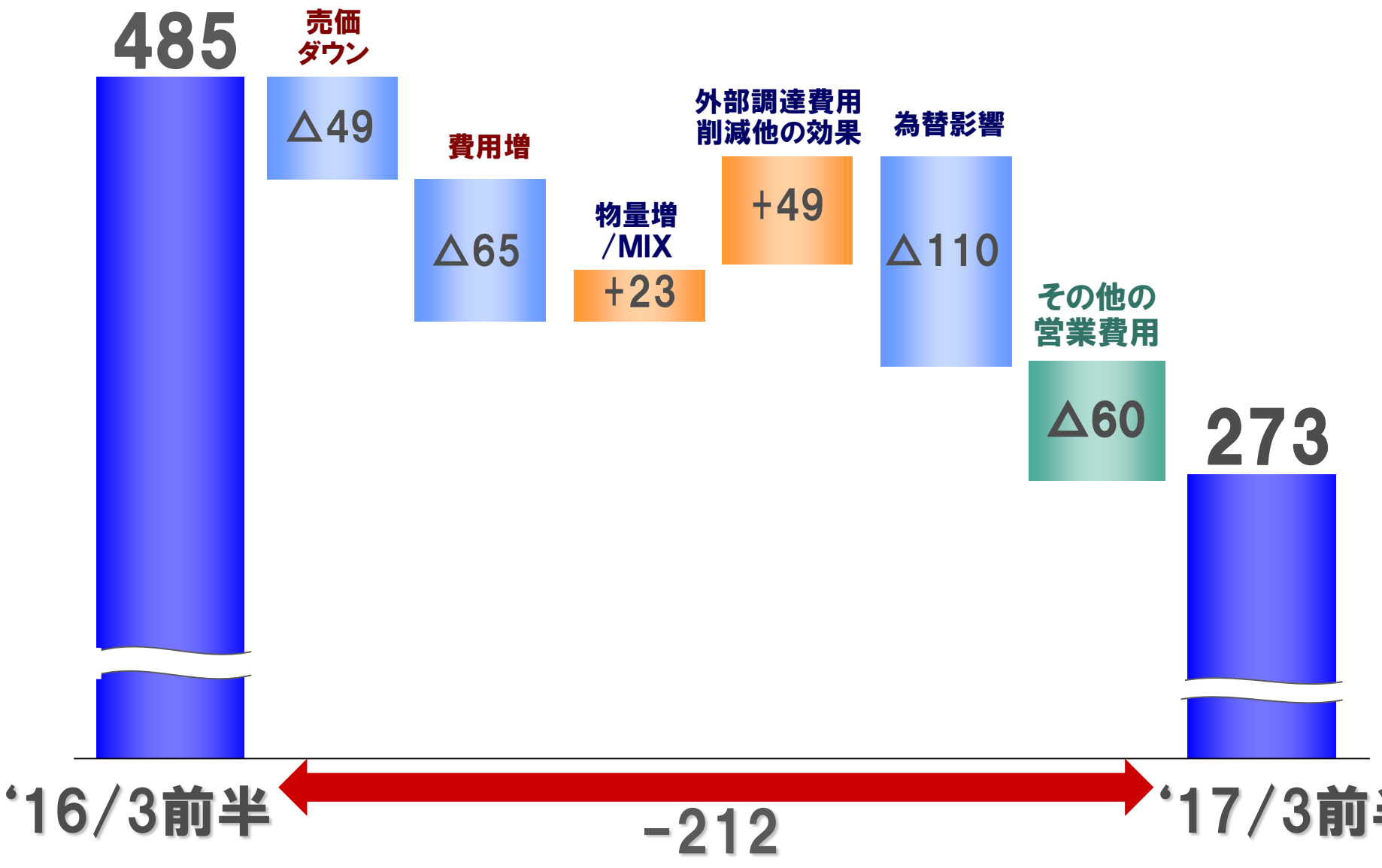


	Q1 16/3期	Q2	Q3	Q4	Q1 17/3期	Q2
US$=	¥121.36	¥122.24	¥121.50	¥115.46	¥108.25	¥102.45
EURO=	¥134.16	¥135.98	¥132.94	¥127.24	¥122.17	¥114.27
中国元=	¥19.56	¥19.32	¥18.90	¥17.62	¥16.54	¥15.36

- ✓ 北米、欧州の自動車販売は堅調に推移
- ✓ 中国市場は昨年度前半の生産調整の反動もあり物量大幅増
- ✓ 全体で物量増となったものの、円高の影響により前年同期比で減収
- ✓ 円高影響、リコール関連費用の計上により、営業利益は対前年減少

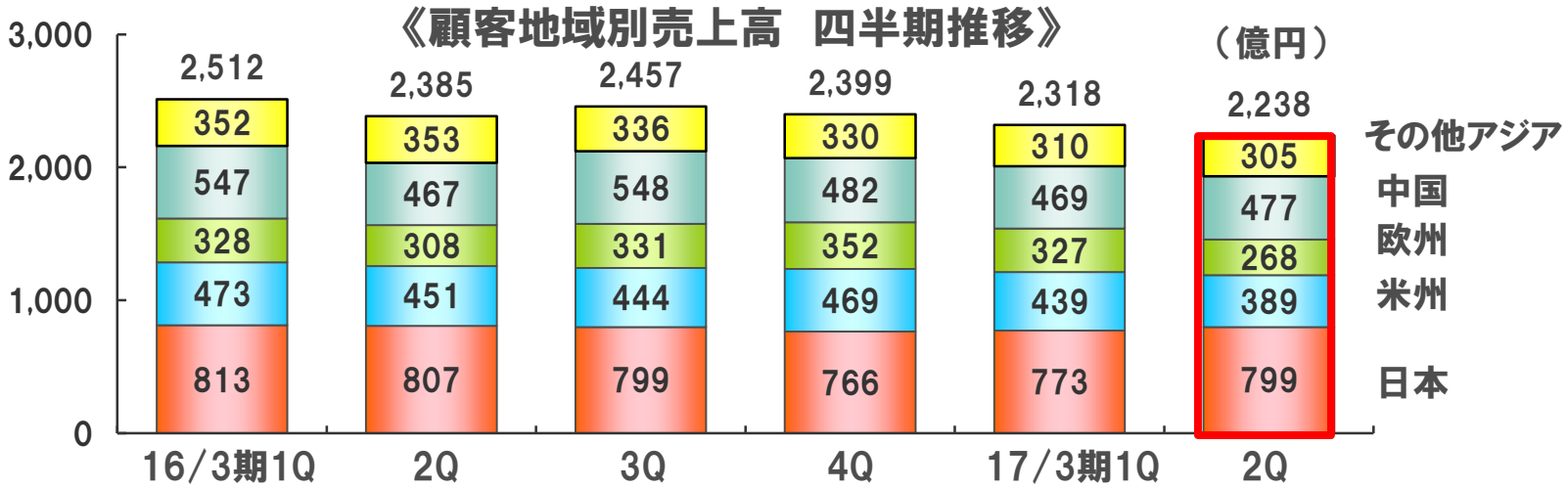
営業利益 増減内訳（‘16/3前半⇒’17/3前半）

（億円）



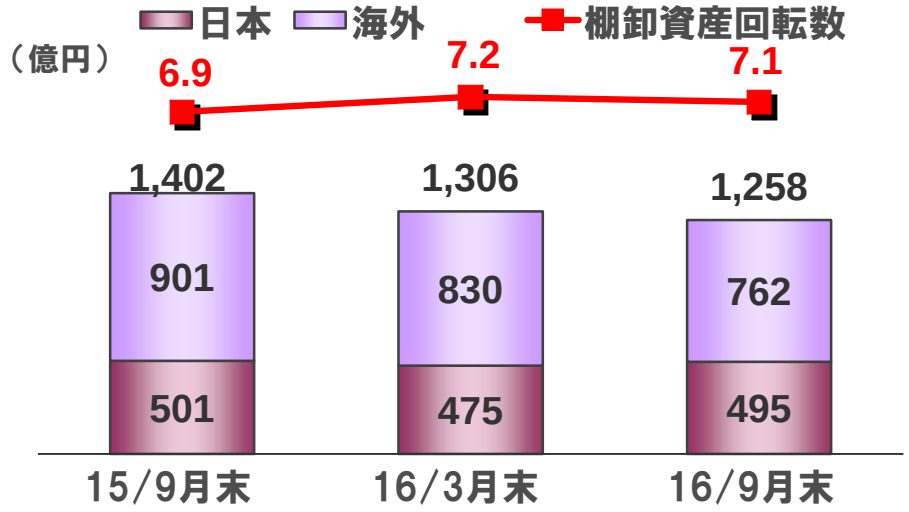
売上高［顧客地域別］

（億円）	16/3期前半 ＜実績＞	17/3期前半 ＜実績＞	対前年増減額	対前年伸び率
売上高	4,897	4,556	-342	-7.0%
日本	1,620	1,572	-48	-2.9%
海外合計	3,278	2,984	-294	-9.0%
（海外比率）	(66.9%)	(65.5%)		
米州	923	827	-96	-10.4%
欧州	636	595	-41	-6.4%
中国	1,014	947	-67	-6.6%
その他アジア	705	615	-90	-12.7%
換算レート1US$	¥121.80	¥105.35	-¥16.45	-13.5%
〃 1EURO	¥135.07	¥118.22	-¥16.85	-12.5%
〃 1中国元	¥19.44	¥15.95	-¥3.49	-18.0%

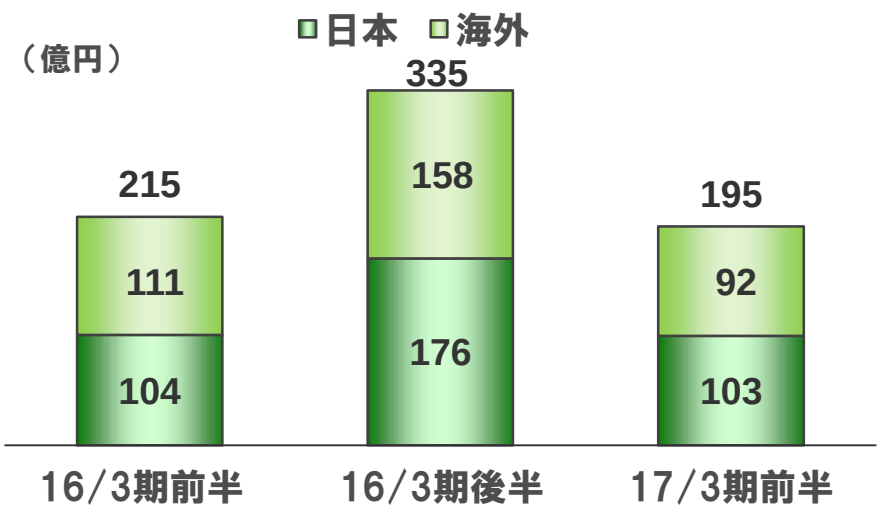


棚卸資産/有利子負債、設備投資/減価償却費

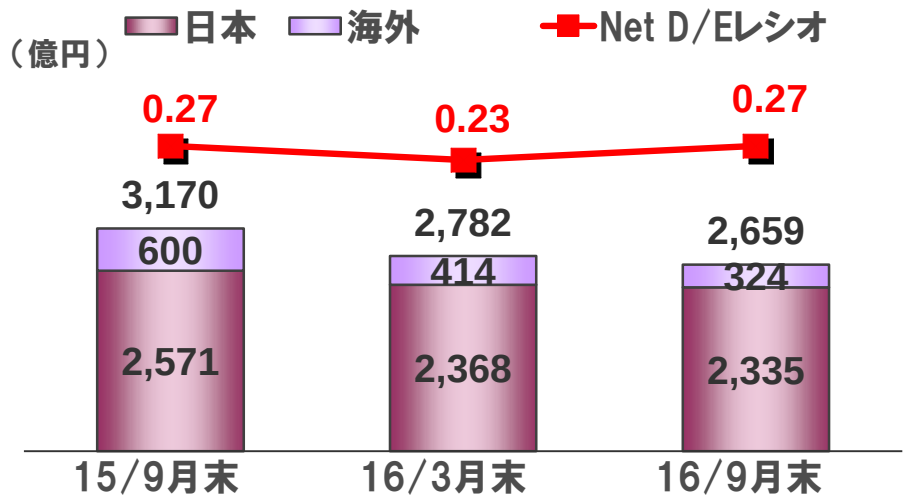
棚卸資産



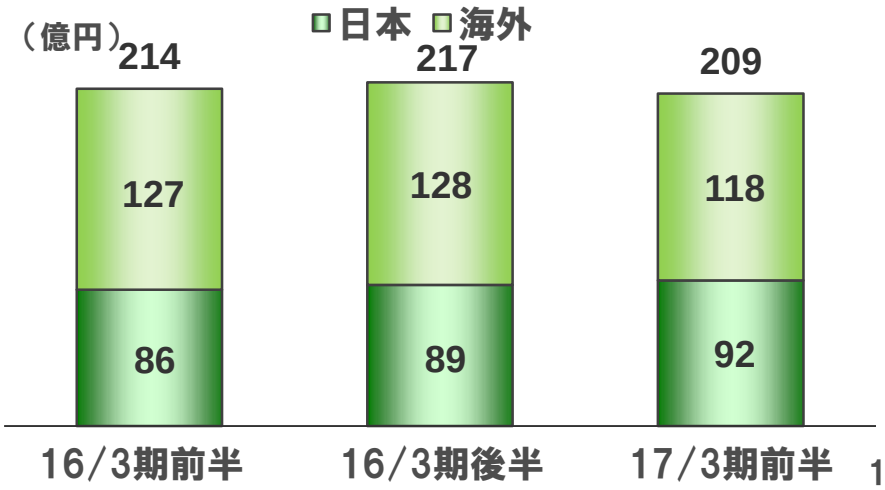
設備投資



有利子負債



減価償却費



2. 2017年3月期通期予想

2017年3月期 通期業績予想

事業環境見通し

- ✓ 産業機械事業：需要調整局面の継続、回復牽引役定まらず
- ✓ 自動車事業：　米国・中国など不安定要素あるも総じて堅調
  AT多段化の進行継続
- ✓ 海外リスク注視（米大統領選、英EU離脱問題、人民元動向）
- ✓ 自動車・産機とも急速な技術革新トレンドが進行

通期業績予想

✓ 期初通期予想を継続

売上高	9,200億円	（対前年）	△553億円 / △5.7%
営業利益	650億円	〃	△245億円 / △27.4%
当期利益（親会社所有者帰属）	400億円	〃	△257億円 / △39.1%

✓ 為替前提 継続：US$=105円、EURO=120円、中国元=16.7円

✓ 年間配当金： 38円 〔前期比＋4円（中間24円、下期14円）〕

2017年3月期 通期予想

IFRS（億円）	16/3期 通期 <実績>	17/3期 前半 <実績>	17/3期 通期 <5月予想>	17/3期 対前期増減額	17/3期 対前期伸び率
売上高	9,753	4,556	**9,200**	-553	-5.7%
営業利益 <営業利益率>	895 <9.2%>	273 <6.0%>	**650** **<7.1%>**	-245	-27.4%
税引前利益	872	265	**630**	-242	-27.8%
当期利益（親会社所有者帰属）	657	199	**400**	-257	-39.1%
換算レート1US$=	¥120.14	¥105.35	**¥105**	-¥15.14	-12.6%
〃 1EURO=	¥132.58	¥118.22	**¥120**	-¥12.58	-9.5%
〃 1中国元=	¥18.85	¥15.95	**¥16.7**	-¥2.15	-11.4%

3．第5次中期経営計画の取り組み

第5次中期経営計画 骨子

NSKビジョン2026　あたらしい動きをつくる

次の100年に向けた進化のスタート

オペレーショナル・エクセレンス

競争力の不断の追求

持続的成長

社会への価値創造
ステーク・ホルダーとの協働

収益基盤の再構築

収益力の強化・定着
モノつくり・品質・人材

新成長領域確立

中核分野での成長
新製品・新領域

イノベーション & チャレンジ

あたらしい価値の創造

自動車事業　・　産業機械事業

安全・品質・コンプライアンス

1兆円企業としての事業基盤

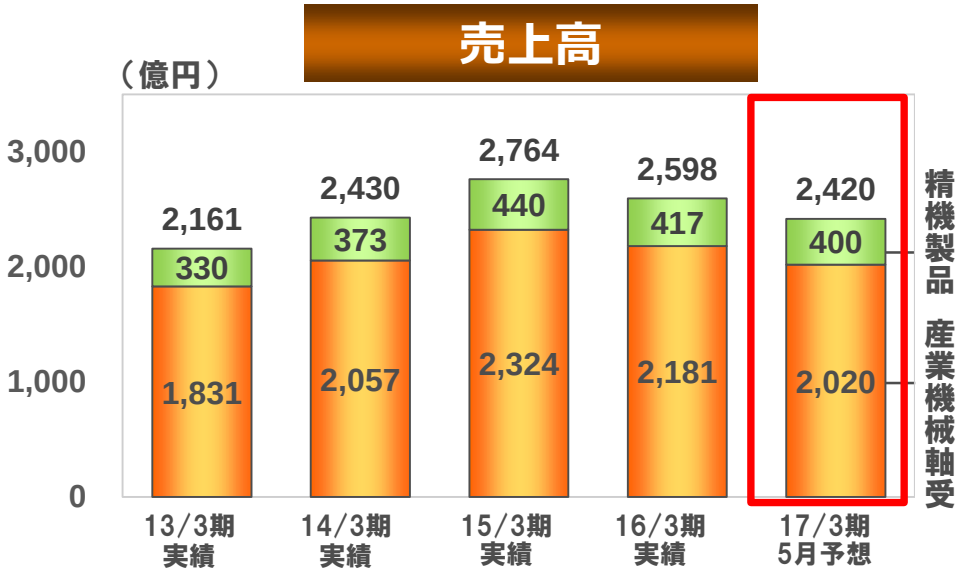
産業機械事業①　需要環境と業績見通し

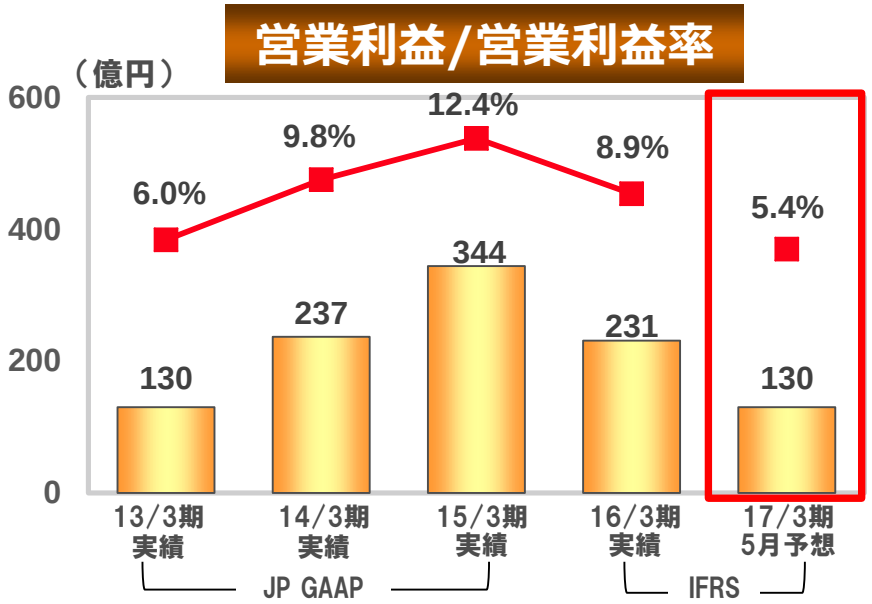
【セクター別需要動向】

セクター	2H vs 1H	FY17 vs FY16
家電	→	↑
鉄鋼	↓↓	↑
流体	→	→
鉱山/建機	→	↑
農機	↑	↑
風力	↓↓↓	↑↑
鉄道車両	→	↑
工作機械	↓↓	→
射出	→	→
半導体	→	→
ロボット	→	↑↑
AM	→	↑

※需要見通し：　↑ 上向き、→ 横ばい、　↓ 下向き

- FY16 2H：横這いと弱含みセクター混在
- FY17　　：回復セクター増えるが緩やか

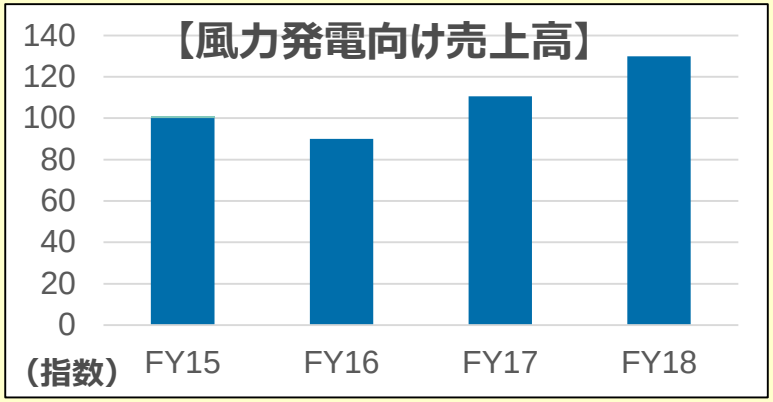




産業機械事業② 中期経営計画 取組み課題状況

風力発電

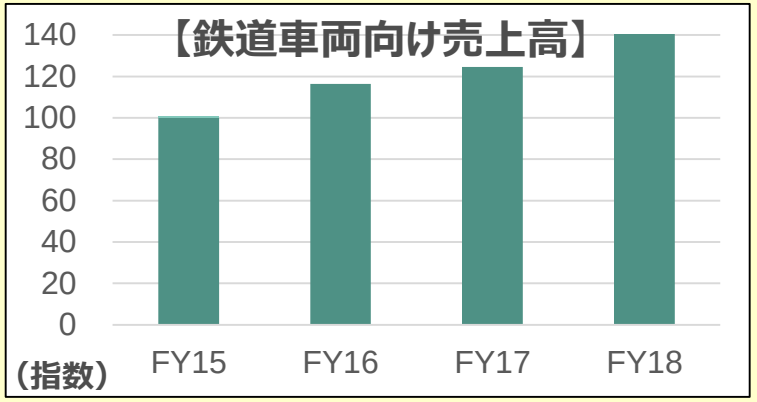
超大形軸受の拡大



- ■ 風力発電機の洋上化、大型化
  ⇒ 超大軸受の需要拡大
- ■ 技術力を活かせるGB向けに狙い
- ■ 新商品の投入
  - ・GBコンパクト化
    ⇒ 定格荷重アップ
  - ・MRO(補修)需要対応
    ⇒ 白色はくり対策
- ■ 中国生産の拡大、リードタイム短縮
  NSK風力品質標準の確立

鉄道車両

海外案件での拡大



- ■ グローバル需要の拡大
- ■ 新幹線向けの強みを活かした横展開
- ■ 地域別の狙い
  - ・日本　トップシェア維持、輸出案件対応
  - ・欧州　最大市場 MROから本格参入
  - ・中国　高速鉄道、地下鉄 案件
    統一新幹線への参入
- ■ 欧州規格への対応

産業機械事業③　中期経営計画 取組み課題状況

アフターマーケット

３分野への注力

■ 市販・代理店
- ・チャンネル・マネジメント
  地域特性に応じた認定基準運用
  代理店評価を通じた強化策実施

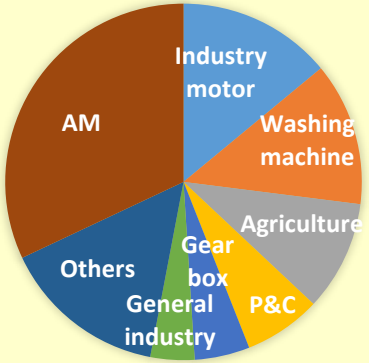
■ MRO
- ・重点ｾｸﾀｰへの注力
  (鉄鋼・鉱山・製紙 & 鉄道・風力)
- ・設備機械改善ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(AIP)
- ・軸受周辺ツールの充実
  CMS、脱着治具、ﾚｰｻﾞｰ芯出し治具

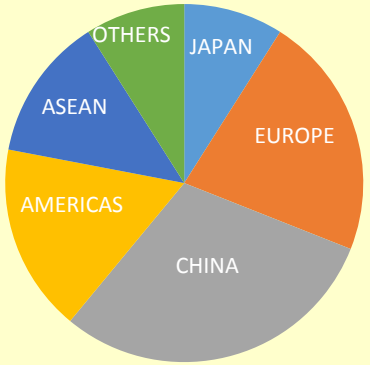
■ 自動車補修
- ・専門代理店の拡大
- ・重点商品(HUB、クラッチリリース)

中形玉軸受

重点品種

【需要セクター・地域】





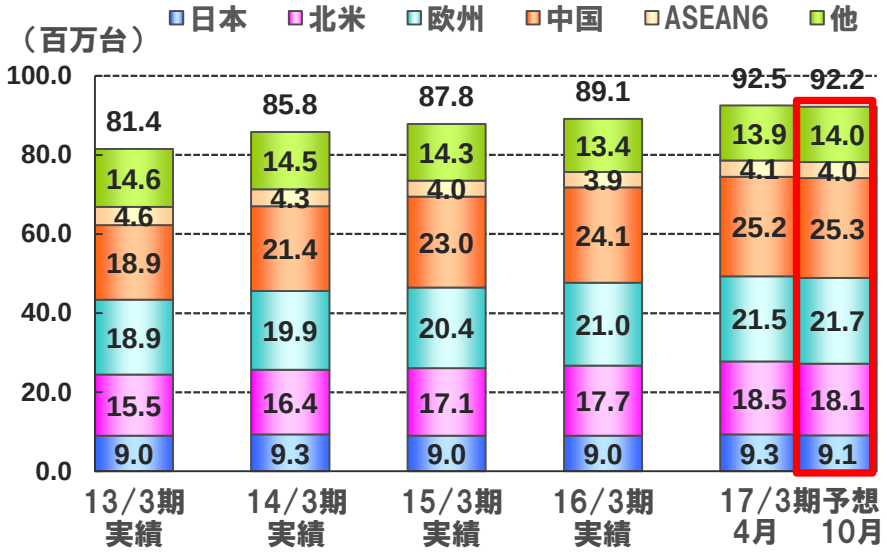
■ 玉軸受トップﾒｰｶとしての拡大

■ 需要階層に応じた対応

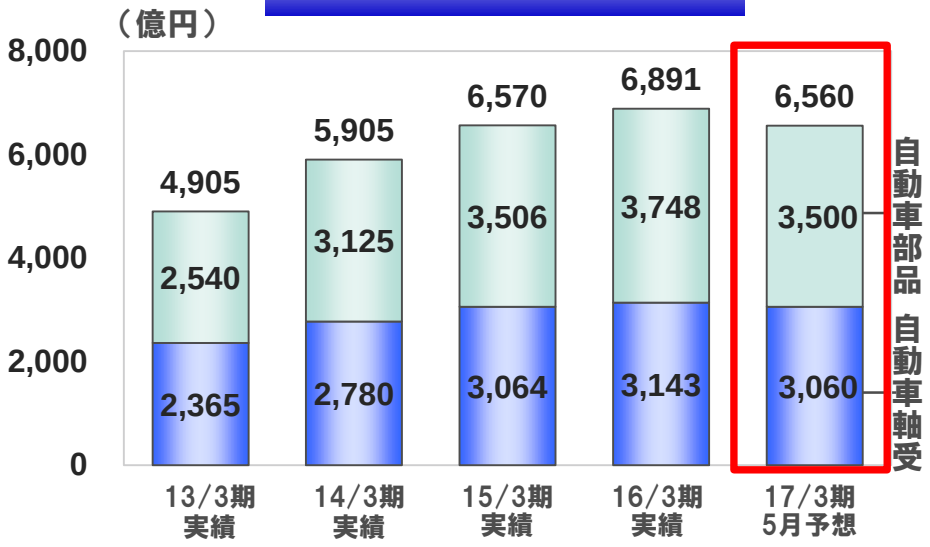
階層	ハイエンド	高機能標準品	コモディティ
主要用途	高効率モータ	市販　流体 洗濯機	一般産業 農機
対応	日米欧トップ客先向け 低トルク軸受の展開	HPSｼﾘｰｽﾞの展開	中国生産の拡大

自動車事業①　生産台数予想と業績見通し

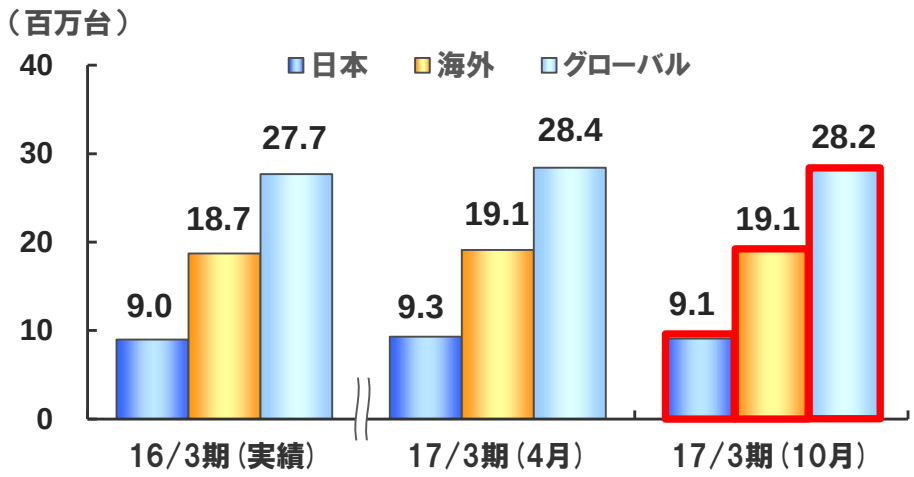
【グローバル自動車生産台数】



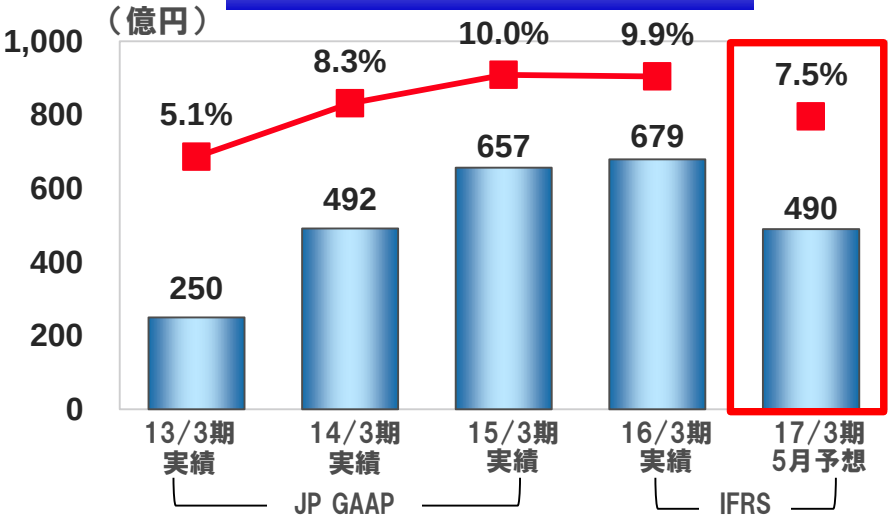
売上高



【日系自動車メーカー　生産台数】



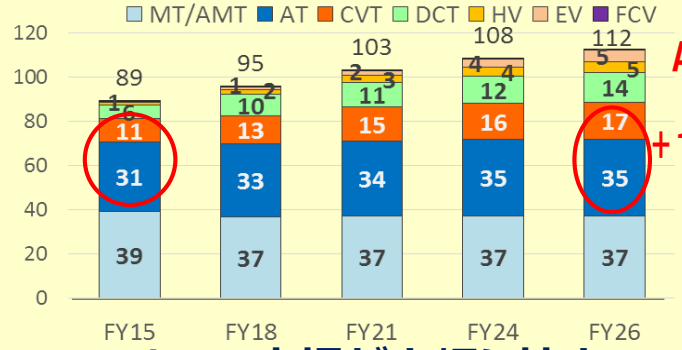
営業利益/営業利益率



自動車事業② 中期経営計画　取組み課題状況 パワートレイン事業

パワートレインビジネス

【トランスミッション　タイプ別需要見通し】



AT + CVT
対FY15
+1,000万台

需要増

・AT/CVT市場が大幅に拡大

【Step AT 多段比率】※多段=7段以上

FY15 22% → FY18 46%

・多段化の進行

【PTベアリング/AT製品売上高予測】

		FY18 vs. FY15	FY21 vs. FY18
ニードル軸受 玉軸受 円錐ころ軸受	16年5月時点	+26%	+17%
AT関連製品	16年10月時点	+31%	+21%

・海外需要 及び 多段化を背景に販売拡大
・拡大する既存顧客の需要への対応
・技術力を活かした顧客ベースの拡大

生産能力の強化
安定供給の確保

【韓国ニードル工場】

・所在地　：韓国 忠清南道 天安市
・操業開始：2017年 4月(予定)
・生産品目：自動車用ニードル軸受
・投資金額：約50億円
・工場面積：敷地 約 9万㎡
　　建屋 約 2万㎡

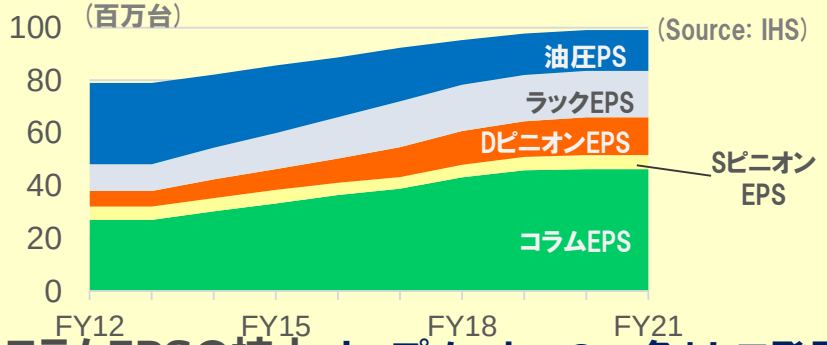
【NSKワーナー メキシコ工場】

・所在地　：メキシコ合衆国 グアナファト州シラオ市
・操業開始：2017年 7月(予定)
・生産品目：自動車用自動変速機向け製品
・投資金額：約20億円
・工場面積：敷地 約 5万㎡
　　建屋 約 1万㎡

自動車事業③ 中期経営計画 取組み課題状況 ステアリング＆アクチュエータ事業

ステアリングビジネス

【タイプ別パワーステアリングシステム需要見通し】



■コラムEPSの拡大 トップメーカーの一角として発展

市場環境 ＋ 技術力

コラムEPSの需要は引き続き拡大

次世代コラムEPSの開発
⇒ADAS対応、機能継続、軽量、操舵フィーリング設計標準化、次世代自動化製造ライン

技術対応力、グローバル供給体制、及びプロジェクトマネジメント力の進化に基づき顧客ベースを拡大

■ラックEPSの開発
ボールねじ技術の活用

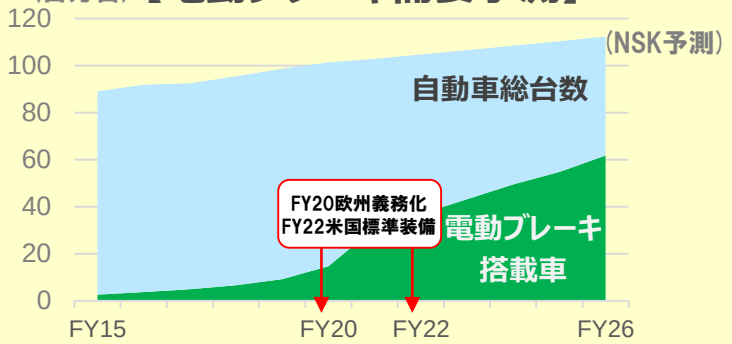
早期ノミネーション確定に向けた開発、受注活動を加速
⇒2017年前半：ターゲット顧客向けデモカー完成

■ADTechの更なる活用

E/Eシステム(ECUのﾊｰﾄﾞｳｪｱ、ｿﾌﾄｳｪｱ)の自社開発

アクチュエータビジネス

（百万台）【電動ブレーキ需要予測】



電動ブレーキの需要拡大

市場環境の変化

車両安全性向上、自動運転、緊急自動ブレーキ搭載義務化
(欧州：法規制　米国：標準装備協定)

＋

技術的優位性

ボールねじ式の強み
回生協調性、応答性、多機能統合性

電動ブレーキブースター用ボールねじ案件受注
：ピークボリューム 年間100万台超(18/3月SOP)
＋ 他案件受注活動進行中

電動ブレーキ部位での地位確立

2017年3月期 後半の重点課題

●低成長経済・為替円高を跳ね返し、期初計画へのこだわり

- ✓ 事業収益力の強化（改善計画、プロジェクトの確実な実行）
- ✓ 投資案件・販管費の徹底管理
- ✓ 安全・品質・コンプライアンス

●産機事業

- ✓ 物量に頼らない収益体質構築
- ✓ 重点領域の具体的施策推進

●自動車事業

- ✓ パワートレイン・ビジネスの拡大を通じた収益確保
- ✓ ターゲットEPS案件の確実な受注と技術開発スピードアップ

●創立100周年事業

（ご参考）創立100周年記念事業

- **NSKビジョン2026の策定と浸透・実現**
- **社会貢献・CSR活動**
  - ✓ NSK奨学財団の設立
  - ✓ 国内外 各拠点での社会貢献活動の拡充
  - ✓ 教育支援 学習まんが「ベアリングのひみつ」
    全国の小学校、公立図書館に寄贈

- **社外イベント**
  - ✓ アーティストとのコラボレーションによるイベント
    「Sense of Motion -あたらしい動きが感覚を覚醒させる-」
    : 100周年記念展覧会（11/9～11/20）
    : NSK Future Forum（11/12）
    @ 青山スパイラルホール
- **NSK100年史発行**　（2017年秋）

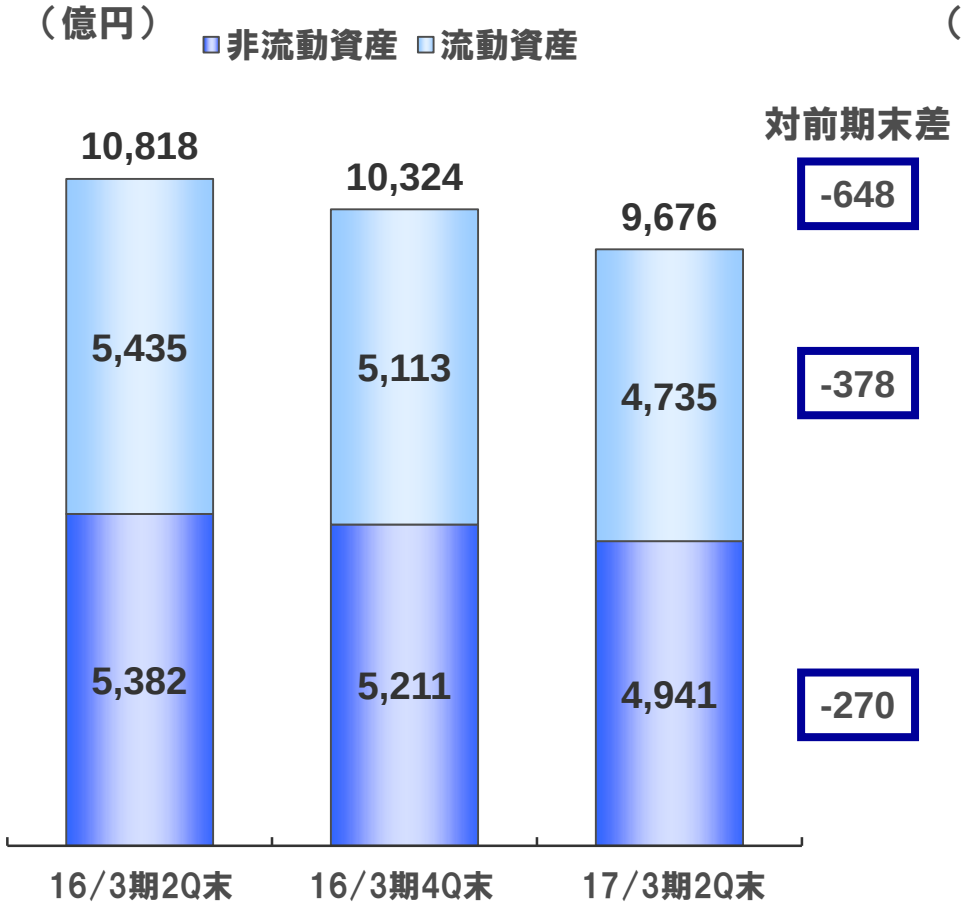
（補足資料）

（補足資料）売上高・営業利益［事業セグメント別］

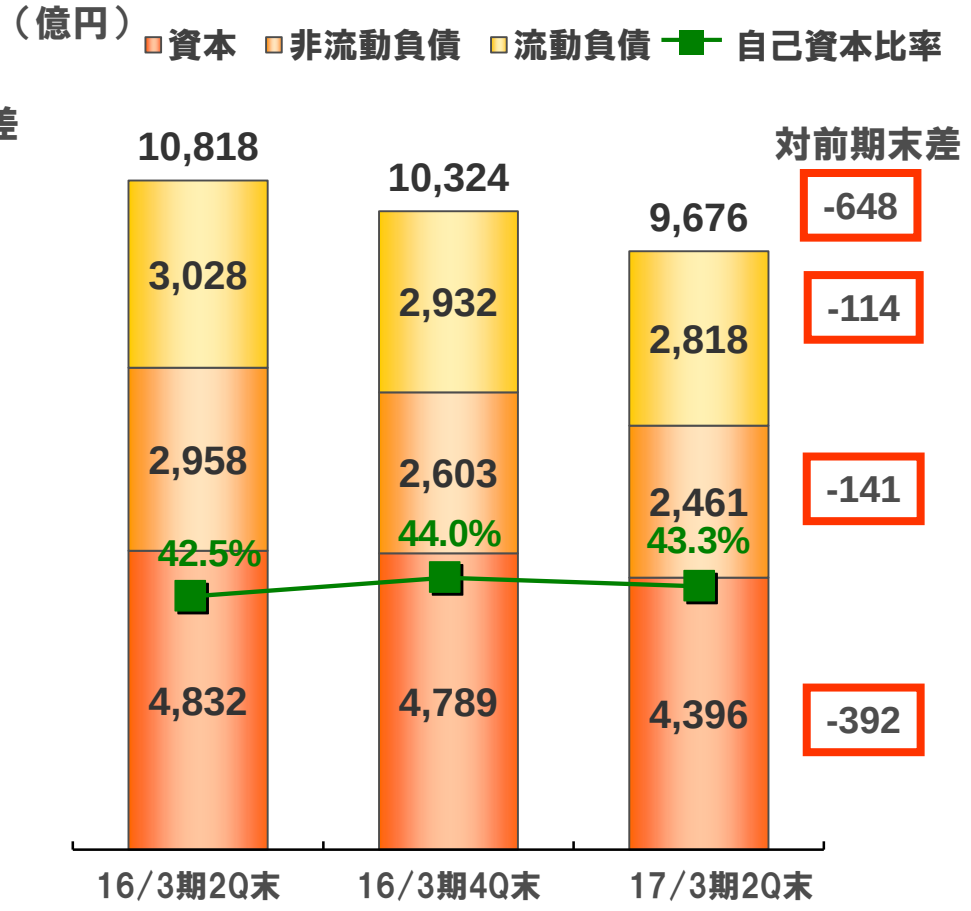
（億円）	16/3期前半 ＜実績＞		17/3期前半 ＜実績＞		対前年同期 増減額	対前年同期 伸び率	17/3期前半 ＜5月予想＞
売上高	4,897		4,556		-342	-7.0%	4,500
産業機械事業	1,366		1,147		-219	-16.0%	1,160
産業機械軸受	1,142		948		-193	-16.9%	975
精機製品	224		198		-26	-11.4%	185
自動車事業	3,390		3,286		-104	-3.1%	3,240
自動車軸受	1,551		1,510		-41	-2.6%	1,510
自動車部品	1,839		1,776		-63	-3.4%	1,730
その他	271		238		-32	-12.0%	240
消去	-129		-115		+14	-	-140
営業利益	485	<9.9%>	273	<6.0%>	-212	-43.7%	280
産業機械事業	153	<11.2%>	58	<5.1%>	-94	-61.7%	50
自動車事業	323	<9.5%>	275	<8.4%>	-47	-14.7%	220
その他	25	<9.3%>	15	<6.4%>	-10	-40.0%	20
その他の営業費用/消去	-15		-76		-60	-	-10

（補足資料）財政状態

資　産



負債/資本



換算レート	16/3期2Q末	16/3期4Q末	17/3期2Q末
US$	119.96	112.68	101.12
Euro	134.97	127.70	113.29
中国元	18.96	17.39	15.15

（補足資料）設備投資/減価償却費/研究開発費

（億円）	16/3期 ＜実績＞	17/3期前半 ＜実績＞	17/3期 ＜計画＞
設備投資	550	195	620

（無形固定資産を含む）

（億円）	16/3期 ＜実績＞	17/3期前半 ＜実績＞	17/3期 ＜計画＞
償却費	430	209	420

（無形固定資産を含む）

（億円）	16/3期 ＜実績＞	17/3期前半 ＜実績＞	17/3期 ＜計画＞
研究開発費	112	60	130